

## 第3章 地域の状況と日常生活圏域

### 第3章 地域の状況と日常生活圏域

介護や支援が必要な高齢者は、住みなれた地域で暮らしたいと願っていても、現実には多くの高齢者が自宅から離れた施設への入所を選択しています。その理由は、地域に365日24時間の安心を得るためのサービスがないことが指摘されています。

高齢者が住みなれた地域で生活を継続できるように、地域毎に必要なサービスを整備し地域包括ケア体制を構築するため、市の区域を分割し「日常生活圏域」を設定します。

#### 1. 地域の状況

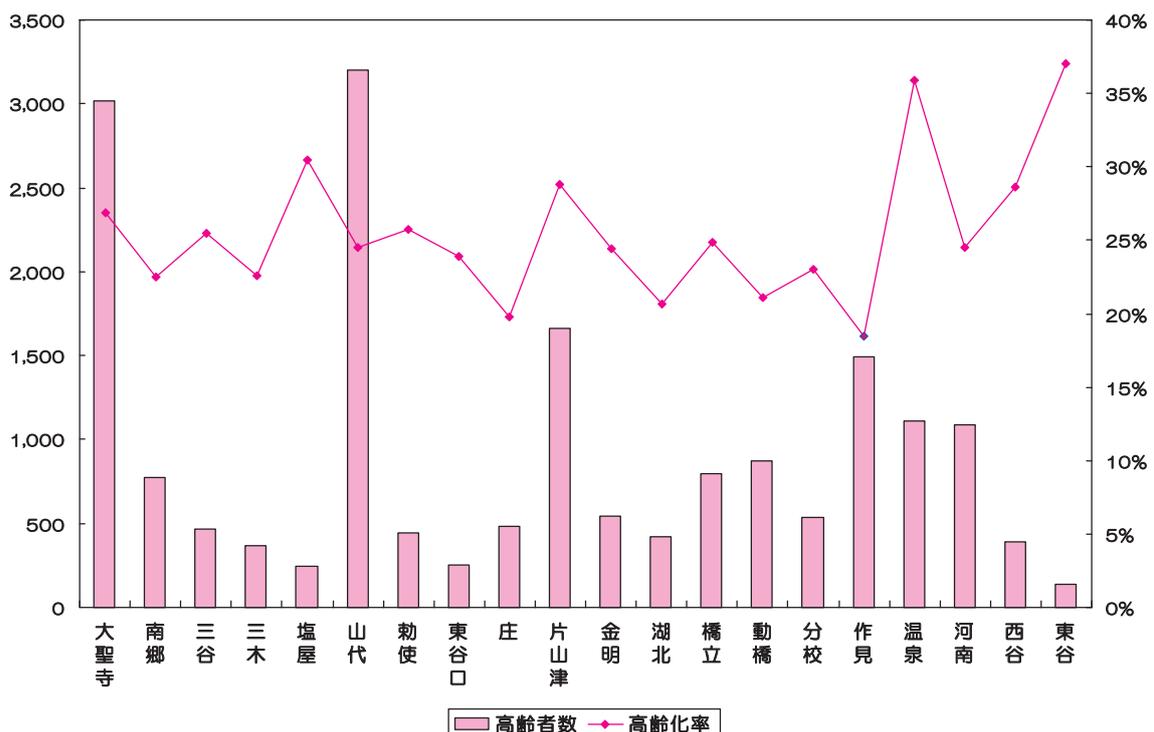
地区別の高齢者の状況は次の表のとおりです。作見地区や庄地区など住宅団地が造成された地区については、あまり高齢化は進んでいませんが、大聖寺地区、片山津地区などの既成市街地や旧山中町の山間部では、高齢化が進行しています。

(地区別高齢者数と高齢化率)

(単位：人)

地区	高齢者数	高齢化率	地区	高齢者数	高齢化率	地区	高齢者数	高齢化率
大聖寺	3,019	26.9%	東谷口	252	23.9%	分校	535	23.0%
南郷	773	22.5%	庄	486	19.8%	作見	1,490	18.5%
三谷	465	25.5%	片山津	1,660	28.8%	山中温泉	1,110	35.9%
三木	369	22.6%	金明	544	24.4%	河南	1,090	24.5%
塩屋	248	30.5%	湖北	419	20.7%	西谷	389	28.6%
山代	3,198	24.5%	橋立	799	24.9%	東谷	137	37.0%
勅使	444	25.7%	動橋	870	21.1%	全市	18,297	24.4%

※施設入所者を除いた各地区別高齢者数（平成20年4月現在）



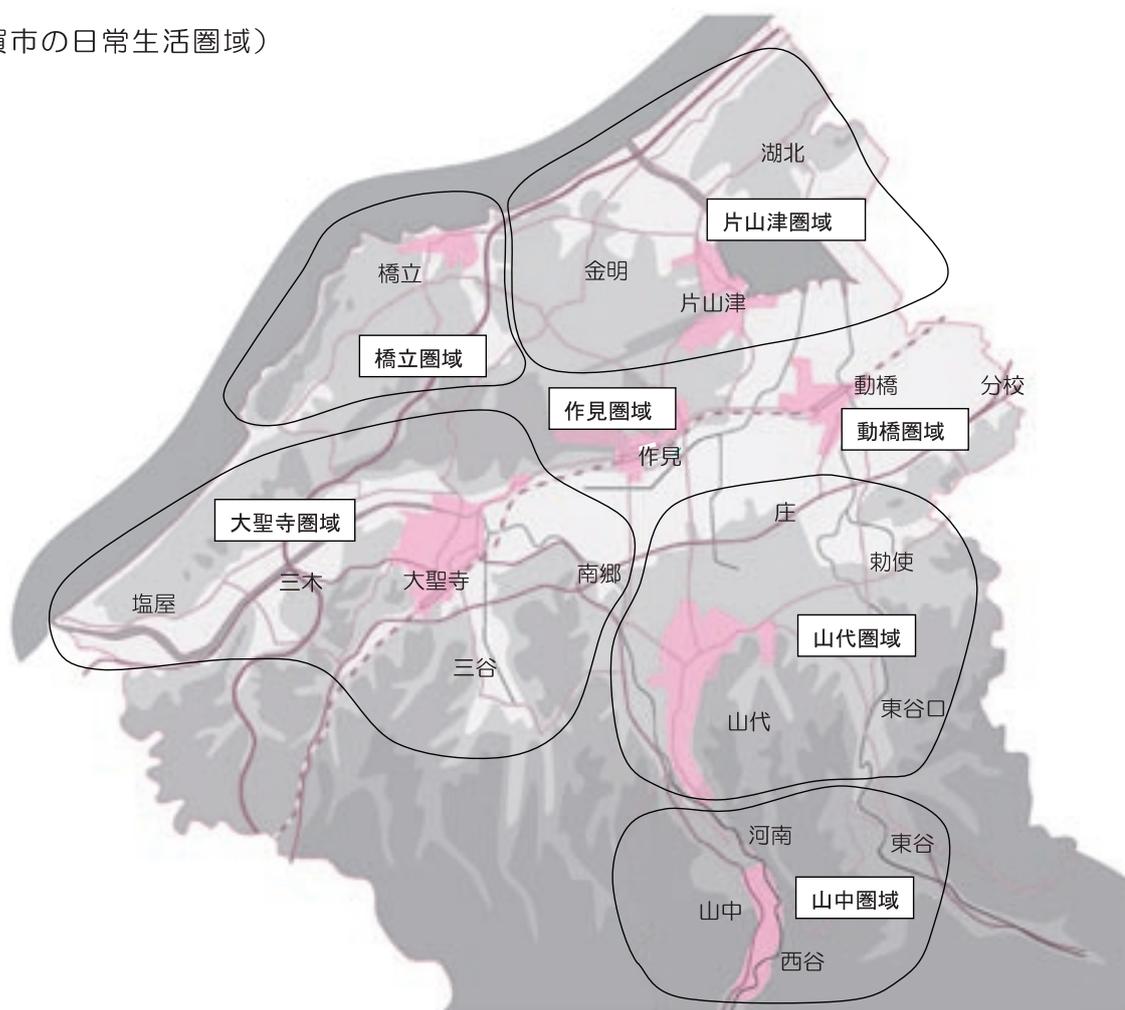
## 2. 日常生活圏域の設定

第3期計画期間における日常生活圏域は、原則中学校区とし、圏域当たりの高齢者数が均衡するよう片山津及び橋立を1つの圏域とした、5圏域の設定としていましたが、第3期計画策定後の平成19年3月に策定された本計画の最上位計画にあたる『加賀市総合計画』においては、加賀市に7つの地域拠点「大聖寺/山代/片山津/動橋/作見/橋立/山中」を位置づけ、周辺地区の都市機能を補完し、地域全体の快適な生活環境が確保できるように基盤整備を推進することとしています。

第4期計画においては、『加賀市総合計画』における7地域拠点と整合性をとり、圏域当たりの高齢者数の均衡より市民の地域意識を重視し、片山津・橋立圏域、動橋・作見圏域を分割することとし、日常生活圏域を次の7圏域とします。

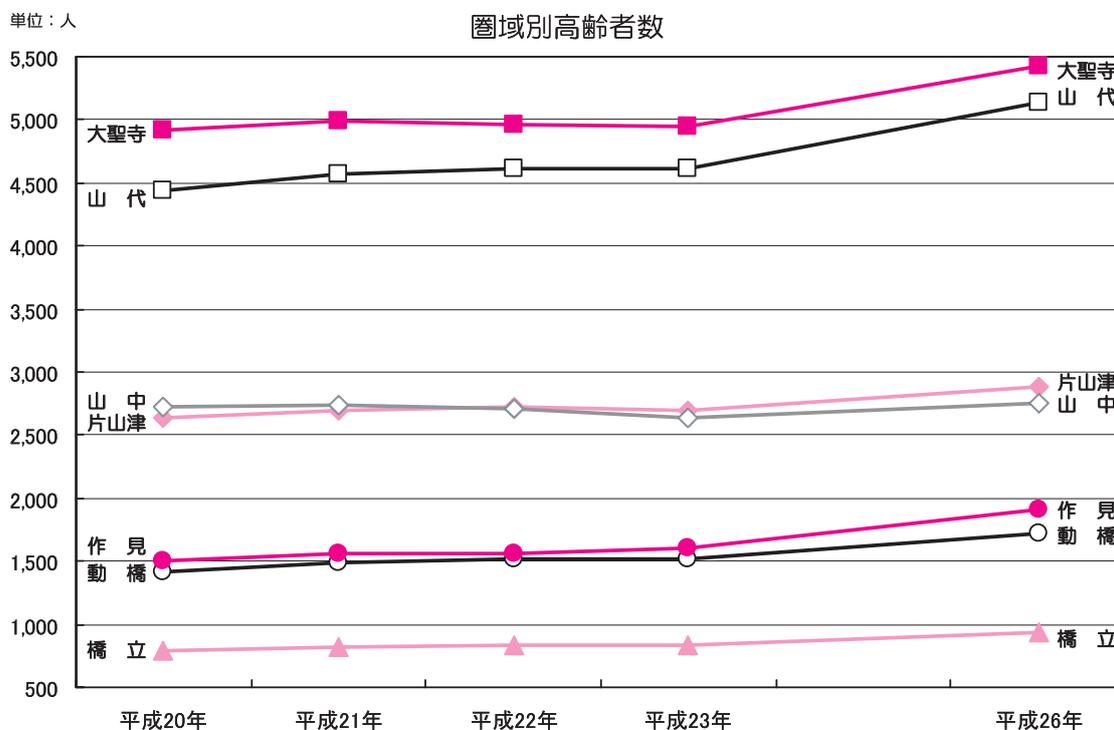
- ①大聖寺圏域：大聖寺地区・南郷地区・三谷地区・三木地区・塩屋地区
- ②山代圏域：山代地区・勅使地区・東谷口地区・庄地区
- ③片山津圏域：片山津地区・金明地区・湖北地区
- ④橋立圏域：橋立地区
- ⑤動橋圏域：動橋地区・分校地区
- ⑥作見圏域：作見地区
- ⑦山中圏域：山中温泉地区・河南地区・西谷地区・東谷地区

(加賀市の日常生活圏域)



(圏域別高齢者数の推計)

	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 26 年
大聖寺	4,912 人	4,998 人	4,969 人	4,945 人	5,422 人
高齢化率	26.1%	26.7%	27.0%	27.3%	31.7%
山代	4,432 人	4,568 人	4,607 人	4,614 人	5,137 人
高齢化率	24.2%	24.8%	25.1%	25.3%	28.7%
片山津	2,641 人	2,693 人	2,718 人	2,701 人	2,888 人
高齢化率	26.2%	26.5%	26.8%	26.7%	28.5%
橋立	796 人	813 人	830 人	835 人	942 人
高齢化率	25.0%	25.5%	26.2%	26.6%	31.1%
動橋	1,416 人	1,485 人	1,511 人	1,523 人	1,721 人
高齢化率	22.0%	23.0%	23.5%	23.9%	27.8%
作見	1,506 人	1,558 人	1,566 人	1,611 人	1,906 人
高齢化率	18.8%	19.3%	19.5%	20.1%	24.1%
山中	2,731 人	2,745 人	2,706 人	2,643 人	2,753 人
高齢化率	29.7%	30.0%	30.1%	29.9%	32.9%



圏域別高齢化率

